

2006年度近畿YOC報告書

-
- 【大会】 近畿YOC2006
(第44回近畿地区国立大学体育大会 バスケットボール競技)
- 【日時】 2006年8月7日(月)～8日(火)
- 【場所】 京都大学体育館
- 【受講者】 片岡 弥生・田中 智也

1. 報告者	片岡 弥生 (クラブ連・公認1年目)		
2. 大会名	近畿YOC2006		
3. 日時	2006年8月7日(月)～8日(火)		
4. 場所	京都大学体育館		
5. 従事した試合			
	回戦	Aチーム	VS
	主審	副審	講師
①	1回戦	京都教育大	VS
	稲川氏(大阪)	片岡(京都)	開氏
②	2回戦	和歌山大	VS
	片岡(大阪)	鬼塚氏(京都)	隅谷氏
③			VS
3. 報告内容			
<p>今回、近畿YOCに参加することができ光栄に思います。</p> <p>この講習会で2つの課題をもって参加しました。1つ目は「ゲームの内容を理解すること」をねらいとして、両チームのポイントとなる選手やオフenseのパターン、ディフェンスの形を1Qが終了するまでに把握すること。2つ目は「確認の徹底」をねらいとして予測のもとにスペースをとらえることができる位置に動くことです。</p> <p>1日目は稲川氏と吹きました。試合前のカンファレンスで、アイコンタクトの徹底を確認しましたが、審判同士でうまく協力できませんでした。見ている所が重なっており、相手のエリアを判定してしまうなど、相手審判の状況を把握できていませんでした。個人の課題の「確認の徹底」では、決めつけの判定をしてしまい選手に不満を持たせてしまいました。確認するために予測して動き、スペースをとらえるというところで終わってしまい、そのプレイが正当なプレイでうまれたものなのか不当なプレイでうまれたものなのかまで確認ができていないと講師から指摘され、自分の弱点が浮き彫りになった試合でした。</p> <p>2日目は鬼塚氏と吹きました。前日の反省を活かし、審判同士の協力ができるように選手と相手審判の位置を毎回確認しながらゲームに取り組みました。この試合では相手審判とアイコンタクトをタイミングよくとることができ、落ち着いた判定につなげることができました。課題である「確認の徹底」では講師から角度や動きなどに工夫をしさらに経験を積む必要があると指摘を受けました。また今後の審判活動に関する話もしていただきました。</p> <p>2日間、自分で実践したことはもちろん、講習生の審判を見て講師の方々と判定や位置取り、動きに関して話合えたことが非常に勉強になりました。今後は審判活動において選手やコーチ、観客から信頼される審判になれるように、ひとつひとつのプレイを自分の目で確かめ確認し、よりよい角度からプレイを見に行くための努力をしていきたいと思います。</p>			

1. 報告者	田中 智也 (クラブ連・公認3年目)			
2. 大会名	近畿YOC2006			
3. 日時	2006年8月7日(月)～8日(火)			
4. 場所	京都大学体育館			
2. 従事した試合				
	回戦	Aチーム	VS	Bチーム
	主審	副審		講師
①	1回戦	滋賀大	VS	奈良教育大
	山本氏(兵庫)	田中(京都)		日野氏
②	2回戦	和歌山大	VS	滋賀大
	細見氏(大阪)	田中(京都)		開氏
③			VS	
3. 報告内容				
<p>今回、近畿YOCに参加させていただいて、多くのことを勉強させていただきました。ありがとうございました。</p> <p>今回の近畿YOCでは、「①プレーを予測して、より早くよい場所へ動く。」「②自分が感じたままに積極的に判定する。」「③自分の割り当てられたゲーム以外で講師の方、および他府県の若手審判員の方と一緒にゲームを観戦し、ゲームの感覚、知識を身に付ける。」の3つを目標としていました。</p> <p>講師の方は他府県の上級審判員の方で、ゲーム後の反省では普段と違う観点からの指摘をいただき、新鮮でした。自分の目標に対しても含めて良い点、悪い点いろいろな指摘をいただきましたが、その中でも2日目のゲーム後の反省は非常に印象深いものでした。そのゲームは開始当初から荒いプレーが目立っており、私はなんとか荒いプレーをやめさせようと多く笛を鳴らしていました。その結果、ゲーム全体のファール数が非常に多くなってしまいました。そのゲーム後の反省で、講師の方から「僕なら半分の笛は吹かないよ」と言われたのは衝撃でした。そのゲームで再認識したことは、審判とはバスケットをさせるために存在するのだということ。審判が笛を吹くからゲームがおさまるというわけではないということでした。</p> <p>また、他府県の若手審判員の方々のゲームを観戦できたこと、話ができただことは非常に良かったです。普段、あまり会う機会のないミニ連など他連盟の方々のバスケットに対する考え方、バスケットの指導方針などは、バスケットとしての視野を広げるという意味で勉強になりました。</p> <p>今回得た経験を生かせるかどうかは、今後の自分の気持ちと行動によるものだと思います。この経験を十分に生かせるように日々努力していきたいと思っています。</p>				